

## 紋飾的世界觀－北海道愛努族與 新社噶瑪蘭族紋飾聯展 介紹

「文様の世界観－北海道アイヌ民族と新社クヴァランの文様合同展」紹介  
Introduction of “World View Through Patterns:  
the Joint Exhibition of Patterns between Ainu People in  
Hokkaido and Kealan People in Sinshe”

文 | 落合研一 (北海道大學愛努・  
先住民研究中心准教授)  
譯・圖 | 陳由璋 (政治大學民族系博士生)  
文責 | 落合研一 (北海道大学アイヌ・  
先住民研究センター准教授)  
訳者・図 | 陳由璋 (政治大学民族学系博士課程)



2018年3月16日、台北華國大飯店で開催した「文様の世界観－北海道アイヌ民族と新社クヴァランの文様合同展」オープニングセレモニーの記念写真。

2018年3月16日、於台北華國大飯店舉辦「紋飾的世界觀北海道愛努族與新社噶瑪蘭族紋飾聯展」開幕式大合照。

2018年3月16日、台北華國大飯店において、「文様の世界観－北海道アイヌ民族と新社クヴァランの文様合同展（紋飾的世界観－北海道愛努族與新社噶瑪蘭族紋飾聯展）」のオープニングセレモニーが開催されました。本稿ではその様子を報告いたします。

### 經濟産業大臣指定伝統的工芸品

1974年5月25日、「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」が制定されました。同法は、伝統的な技術や技法によって製造される伝統的工芸品の産業としての振興を図り、国民生活に豊かさと潤いを与えること

2018年3月16日、於台北華國大飯店舉辦「紋飾的世界観－北海道愛努族與新社噶瑪蘭族紋飾聯展（文様の世界観－北海道アイヌ民族と新社クヴァランの文様合同展）」開幕式。本稿報告當時的情況。

### 經濟産業大臣指定傳統性工藝品

1974年5月25日、制定「傳統性工藝品産業之振興相關法律」。該法為求振興以傳統性技術或工法所製作之



現場でアイヌ民族の伝統工芸品について参加者たちに紹介した。  
現場向與會者介紹愛努文物展品簡報。

もに、地域經濟の發展に寄与することを目的としています（1条）。同法に定められた要件に該当する工芸品は、經濟産業大臣によって傳統的工芸品に指定され、傳統的工芸品を製造する事業者や事業者組合は、經濟産業大臣に産業の活性化計画を提出して適當と認定されると、同計画に基づく事業に必要な経費の一部を補助してもらえることになっています。

傳統的工芸品として指定されるための要件は、以下のとおりです（2条1項）。

1. 主として日常生活の用に供されるものであること。
2. その製造過程の主要部分が手工業的であること。
3. 傳統的な（＝100年以上継承されている）技術又は技法により製造されるものであること。
4. 傳統的に使用されてきた原材料が主たる原材料として用いられ、製造されるものであること。
5. 一定の地域において少なくない数の者がその製造を行い、又はその製造に従事しているものである（＝一定の地域が産地と叫ぶ）こと。

### 二風谷イタ、二風谷アットゥシの傳統的工芸品の指定

かつては「蝦夷地」などと呼ばれていた北の大地が「北海道」と命名されたのは1869年のことです。ようやく150年を経たばかりの北海道に100年以上継承さ

傳統性工藝品産業，同時賦予國民生活豐裕與潤澤，並以益於地區經濟之發展為目的（第1條）。該法所訂定必要條件之該當工藝品，由經濟産業大臣指定為傳統性工藝品，製作傳統性工藝品の從業者或從業者公會，向經濟産業大臣提出産業活化計畫後認定為適合時，依據該計畫之事務可獲得部分必要經費之補助。

指定為傳統性工藝品所需之必要條件為下（第2條第1項）：

1. 主要為提供日常生活所需之物品。
2. 其製造過程之主要部分為手工業性質。
3. 以傳統性（＝傳承為100年以上）技術或工法製作之物品。
4. 主要原料為採用傳統以來所使用的原料，經製作加工之物品。
5. 一定地區內非少數人進行其製造，又或所從事其製造之物品（＝可謂一定之地區為產地）。

### 二風谷ita、二風谷attus之傳統性工藝品指定

過去這片北方大地被稱為「蝦夷地」，命名為「北海道」則為在1869年的時候。北海道好不容易剛歷經了150年，大家一直以來認為在北海道沒有傳承100年以上的「傳統性技術或工法」等情況。但是早在命名為北海道更遙遠的以前，愛努族的人們便生活在這北方大地，持續傳承著獨自的文化。2008年6月6日，國會參眾議兩院內全會一致通過「要求愛努民族為原住民族之決議」後，同日，政府也正

れている「伝統的な技術又は技法」などはないと考えられてきました。しかし、北海道と命名される遙か以前から、北の大地にはアイヌの人々が暮らし、独自の文化を継承し続けてきました。2008年6月6日、国会の衆参両院において「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が全会一致で採択されると、同日、政府も、アイヌの人々が日本国の先住民族であると正式に認めました。そして、2013年3月8日、北海道の平取町二風谷地区でアイヌの人々が継承してきたイタ（＝アイヌ文様が彫刻された盆）とアットウシ（＝榆などの樹皮の内皮を細く裂いて撚った糸を原料とする織物）が「二風谷イタ」、「二風谷アットウシ」として、北海道初の伝統的工芸品に指定されたのです。

平取町は、沙流川が中央を流れ、山々がその両岸の平地を囲む風光明媚な地域です。二風谷地区には500人ほどが暮らしていますが、その7～8割がアイヌであり、現在もアイヌ民族の伝統文化が継承されています。戦後の林業が盛んだった時期には、伐採した木材を筏に組んで沙流川を下る筏師が丈夫なアットウシ織を求め、1960年代の北海道観光ブームの時期にも、国内の観光客がこぞって木彫やアットウシ織を求めました。こうして確立されたアイヌ民芸をとり巻く環境も、林業が衰退し、北海道観光ブームが去ると厳しくなりましたが、二風谷地区には現在も木彫やアットウシ織を生業としている人々が少なくありません。近年は、北海道と命名される以前にアイヌの人々が日常生活で使っていた民芸品だけでなく、現代の需要に応じた民芸品、さらには継承されてきたアイヌの伝統文様を活かした芸術作品まで、様々なものが創られています。二風谷地区のアイヌの人々のこのような創意工夫の努力があったからこそ、「二風谷イタ」と「二風谷アットウシ」が伝統「的」工芸品に指定されたといえるでしょう。

式承認愛努族人為日本國家的原住民族。之後，2013年3月8日，居住於北海道的平取町二風谷地區愛努族人所傳承的ita（＝刻有愛努紋樣的木盆）與attus（＝將榆樹等樹皮內皮撕細開來後捻成織線材料的織品），以「二風谷ita」與「二風谷attus」之名，首次被指定為北海道的傳統性工藝品。

平取町，沙流川流經中央，群山圍繞兩岸平地，是風光明媚的地區。二風谷地區約有500人居住，其中7～8成為愛努族，現在仍傳承著愛努民族的傳統文化。戰後林業曾興盛的時期，木筏師傳會將砍伐下來的木材綁成木筏後順著沙流川流下，剛時木筏師傅便希望使用此地耐用的attus織品，1960年代的北海道觀光熱潮時期，也湧入大量國內的觀光客購買木雕品或attus織品。如此所確立出來的愛努民藝之所處環境，也因林業衰退，北海道觀光熱潮退燒後變為嚴峻。然而二風谷地區現在仍有不少人是以木雕或attus織品作為生計。近年，不僅是北海道命名以前的愛努族人們日常生活所使用的民藝品，因應現代需求的民藝品、甚至是活用所傳承的愛努傳統紋樣所製作的藝術作品，進行著各式各樣的創作。所以可以說正因為二風谷地區的愛努族人致力於如此創意心血，所以「二風谷ita」與「二風谷attus」才會被指定為傳統「性」工藝品。





華山1914文化創意產業園區紅磚區西6館で展示された二風谷民芸組合と香蕉絲工坊の作品たち。

於華山1914文化創意產業園區紅磚區西6館所展示的二風谷民芸組合與新社噶瑪蘭族香蕉絲工坊作品。

### 昨年の「日本アイヌ民族工芸特展」

日本政府は、総合的なアイヌ政策を確立するためのスタートラインとして、国立アイヌ民族博物館を中心とする民族共生象徴空間を2020年4月までに開設することとし、2009年以降、その準備を進めています。北海道大学アイヌ・先住民研究センターは、象徴空間の具体化に向けた実効的提言につなげるため、学術交流協定を締結している国立政治大学原住民族研究中心にご協力いただきながら、原住民族の文化発信の場、文化実践の場である原住民族文化発展中心を、白老・平取・阿寒のアイヌの皆さんと数回にわたって視察させていただきました。同発展中心は、原住民族委員会（＝原住民族省。以下「原民会」）が管轄しているため、視察したアイヌの皆さんは、主任委員（＝大臣）、副主任委員（＝副大臣）をはじめとする原民会の皆さんと交流する機会にも恵まれました。このようなご縁もあって、2014年以降、主任委員も北海道を訪れてくださるようになりました。

2016年には、イチャン・パルー主任委員が白老町と平取町を訪問され、平取町では二風谷民芸組合の皆さんの作業場を視察なさいました。主任委員は、実際に製作現場をご覧になって、伝統文様が彫刻されたイタの美しさや、楡などの樹皮を剥いでからアットゥシ織を完成させるまでの大変な手間と高い技術に感動

### 去年的「日本愛努民族工藝特展」

日本政府，做為確立總和性愛努政策之起跑點，將於2020年4月前開設國立愛努民族博物館為中心的民族共生象徴空間，2009年以後開始進行該項準備。北海道大學愛努・先住民研究中心，因對象徵空間具體化之實際效力建言能有所連結，在有締結學術交流協定的國立政治大學原住民族研究中心給予協助下，多次與白老、平取、阿寒的愛努族族人一同來訪考察為原住民族文化發訊點、文化實踐場域的原住民族文化發展中心。該原住民族文化發展中心，因屬原住民族委員會（＝原住民族省／げんじゅうみんぞくしょう。以下稱為「原民會」）所管轄，前去考察的愛努族人們，非常幸運能與主任委員（＝大臣／だいじん職位）、副主任委員（＝副大臣／ふくだいじん職位）為首的原民會每一位同仁有交流的機會。因為有此良緣，故有幸2014年主任委員能夠親自造訪北海道。

2016年夷將・拔路兒主任委員訪問白老町與平取町，在平取町時視察二風谷民藝組合成員們的工作場所。主任委員實際參觀過製作現場，對刻有傳統紋樣的ita之美、從剝取楡樹等樹皮後到完成attus織品所費的大量功夫與高度技術深表感動。二風谷民藝組合理事長貝澤守先生表示，主任委員對於愛努民藝如此給予深刻的專注，也希望務必能在台灣介紹二風谷地區的愛努民藝品，將貝澤守先生的期望傳達給主任委員後，主任委員答覆願

なさっていました。二風谷民芸組合長の貝澤守さんも、主任委員がアイヌ民芸にこれほど深く関心を寄せてくださる台湾で是非とも二風谷地区のアイヌ民芸品を紹介したいとお思いになり、主任委員にその旨をお伝えしたところ、主任委員から協力を惜しまないとのことをお返事をいただくことができ、台湾でのアイヌ民芸展が実現することになったのです。

昨年の「日本アイヌ民族工芸特展（日本愛努民族工芸特展）」は、3月17～19日、華山1914文化創意産業園区果酒大樓において開催され、のべ2,000人以上の人々が会場を訪れてくださいました。しかし、昨年は民芸品をとおしてアイヌ文化を紹介するにとどまり、民芸品を販売しませんでした。販売するとなれば台湾の税関手続を経なければなりません、そのための準備作業に対応できなかったからです。会場に来てくださった人々からは、展示されている民芸品を買いたいという要望も少なくなかったため、民芸品の販売が今後の課題となりました。また、大勢の人々が会場に来てくださっただけに、展示期間が3日間だけだったことも惜しまれました。しかし、二風谷民芸組合の皆さんが2週間から1か月間も二風谷の自宅や作業場を留守にすることは難しく、長期間の展示も今後の課題となりました。

### 今年の「文様の世界観－北海道アイヌ民族と新社クヴァランの文様合同展」

原民会は、原住民族業者の海外市場進出を支援する方針を示しており、各国の原住民族と経済活動において協力できる機会を模索しておられます。今年は、昨年の特展の課題も踏まえ、アイヌ民族の伝統的工芸品の台湾市場における可能性を把握し、台湾の原住民族業者との継続的な販売協力につなげられるように、二風谷民芸組合と台湾の原住民族業者の交流の場となるような特展を企画していただきました。

まず展示は、「文様の世界観－北海道アイヌ民族と新社クヴァランの文様合同展（紋飾の世界観－北海

意不惜余力地協助幫忙後，因而實現了在台灣的爱努民藝展。

去年的「日本愛努民族工藝特展（日本アイヌ民族工芸特展）」於3月17～19日，華山1914文化創意産業園果酒大樓舉辦，到場觀展民眾總計2,000以上人次。但是去年展覽僅止於透過民藝品介紹愛努文化，沒有販售民藝品。如果要販售的話必須透過台灣關稅手續，因為沒有為此進行準備作業故無法應對販賣情況。到場的民眾也有不少人士表示意願希望購買現場展示的民藝品，因此販賣民藝品成為今後的課題。另外，正因為展場參觀民眾絡繹不絕，展期只有三天也讓人惋惜。但是，很難要二風谷民藝組合的成員們離開二風谷的家裡或工作場所2週到1個月的時間，因此長期展覽也成為今後的課題。

### 今年的「紋飾的世界觀－北海道愛努族與新社噶瑪蘭族紋飾聯展」

原民會表示支援原住民族業者進軍海外市場の方針，並於各國原住民族與經濟活動之中摸索可以合作的機會。今年也立足於去年特展的課題，為能掌握愛努民族的傳統性工藝品在台灣市場的可能性，以及連結與台灣的原住民族業者之間販賣合作的永續性，原民會幫忙企劃特展，讓二風谷民藝組合與台灣的原住民族業者有交流的場域。

首先，就如同展名「紋飾的世界觀－北海道愛努族與新社噶瑪蘭族紋飾聯展（文様の世界観－北海道アイヌ



二風谷民芸組合と新社噶瑪蘭族香蕉絲工房メンバーの記念写真。  
二風谷民芸組合與新社噶瑪蘭族香蕉絲工房成員大合照。

道愛努族與新社噶瑪蘭族紋飾聯展)」という表題どおり、二風谷民芸組合と花蓮縣の新社集落にある香蕉絲工房の共催による合同展として、3月16日～4月30日の7週間にもわたって開催されることになりました。会場は、華山1914文化創意產業園區紅磚區西6館です。

そして、合同展のオープニングセレモニーは、台日業者交流会開幕レセプション（臺日業者交流暨開幕茶會）として実施されました。インペリアルホテル台北の会場には、二風谷地区で烏來タイヤル工芸展を開催して以降、交流を続けてくださっている新北市烏來區原住民編織協會の皆さんをはじめ、大勢の人々が駆けつけてくださいました。イチャン・パルー主任委員は、立法院の審議のため開幕レセプションには参加いただけないはずだったのですが、立法院の審議が中断したからと、急遽会場に駆けつけてくださいました。今回の合同展に対する主任委員の深い思い入れが垣間見える一幕でした。アイヌ民族の伝統的工芸品の魅力を活かし、台湾市場における継続的販売を民間レベルで実現できるようにご配慮いただくことは、二風谷民芸組合の皆さんにとってありがたく、大きな刺激になったと思います。台湾の原住民族業者との販売協力を実現させるには、言葉の壁をはじめ様々な課題を克服していかなければなりません。二風谷民芸組合のこれからの努力が大切になってくるでしょう。◆

民族と新社クヴァランの文様合同展）」所示、為二風谷民藝組合與花蓮縣新社部落的香蕉絲工房共同舉辦的聯展，舉辦時間為3月16日～4月30日的7週展期。展場為華山1914文化創意產業園區紅磚區西6館。

接著是聯展開幕式，是以台日業者交流會開幕招待會（台日業者交流暨開幕茶會）形式舉行。台北華國大飯店會場湧入許多參加者，其中有在二風谷地區舉辦過烏來泰雅工藝展後，彼此持續交流的新北市烏來區原住民編織協會會員們。夷將・拔路兒主任委員，原本因立法院審議關係無法參加開幕招待會，但因立法院暫停審議關係，主委便立即驅車趕至會場。這一幕可瞥見主委深刻關切本次聯展。二風谷民藝組合的成員們很感激原民會為他們設想如何能發揮愛努民族傳統性工藝品的魅力，在民間層級實現台灣市場內的永續性販賣這件事，他們覺得受到很大的啟發。為了實現與台灣原住民族業者之間的販賣合作，必須克服語言隔閡為首的各項課題。二風谷民藝組合今後的努力可說是相當重要。◆